

法科大学院がわかる会（2015年9月10日・大阪会場）

来場者の感想①

私は友人に誘われて、この説明会に参加しました。元から弁護士志望だったこともあり、法科大学院の制度に関しては、自分であらかた調べたつもりでいました。しかし、現役で活躍されている法曹の方々から、実際に生の声を聴くことで、今までは見えなかった、法科大学院の新たな側面が浮き彫りになってきました。特に、大学院の同期生たちとは、お互いに切磋琢磨し合える仲間として、卒業後も関係が続いていくという点に魅力を感じました。今回伺ったお話は、将来の準備をするうえで、十分に参考になるものだったと思います。もし次回もこのような集いがあれば、また参加させていただきたいです。

来場者の感想②

私が「法科大学院がわかる会」に参加しようと思った理由は、司法試験を受験するにあたり、通うであろう法科大学院について詳しく知りたかったからです。第1部では、法科大学院のどのような点が良いか知ることができました。特に、ただ法律についての知識を身に着けるだけでなく、人と関わり続けることで、人間観察ができ、弁護士になるにあたっての洞察力が身に付くというお話が興味深かったです。私は今まで法曹になるまでのことは考えても、なつてからのことを深く考えていませんでした。今回のお話が、資格をとるだけでなく、どのように働くかを考えるきっかけになりました。

また、第2部、第3部では、検察官、弁護士、インハウスローヤーの方の実際の仕事を聞き、自分の未来像がより具体的になりました。特にインハウスローヤーについて知らなかったので、新しい情報を多く得ることができ充実した時間を過ごせました。今回のお話で、法科大学院で何を身に着けられるか知るとともに、将来法曹になりたいという気持ちが強くなりました。良い経験ができたと思っています。

来場者の感想③

「法科大学院がわかる会」には、学部卒業後の進路として法科大学院を検討しており、ロースクールでの学びについて詳しく知りたかったこと。また、法曹の方との懇親会でお話が伺える機会をもてるという点に興味をもち、参加いたしました。

まず、1部では、ロースクール卒業生の若手弁護士の方のお話から、ロースクールでは、自分の考えや意見を出し、お互いに討論しながら勉強できたことが魅力で議論することが現在の仕事にも有益となっており、実務に直結する重要なことが学べたと教えていただきました。

次に2部で、法曹界で活躍している方々との懇談会では、法曹を志したきっかけ、ロースクールでの生活、さらに、現在の実務やキャリアについて直接質問もしながら詳しくお話を聞けました。3人の方と交流できました。私が得に興味を持っていた企業内弁護士という新しいフィールドでの多様な働き方も知ることができました。

最後に、3部は、市内の中堅の法律事務所見学でした。法廷以外ではなかなかイメージすることの難しい弁護士の先生がたの現場を案内していただきながらお仕事の体験談を聞かせていただきました。

全体を通じて感じたことは、自ら考え、判断し、それらの力で他者に関わっていくという法曹の仕事がロースクールの双方向型の授業で鍛えられた力が生かされていくのだなど直接お話をするなかで感じました。また、弁護士の業務が思っていたよりかなり幅広い活躍の場が用意されていることもわかりました。

今回、ネットやパンフレットで調べるだけではわからない貴重な体験をさせていただき、これからの進路選択の参考になりました。ありがとうございました。